

移住・定住対策

アナ： 「市長が語る 2018 三島」第 11 回の今日は、「移住・定住対策」についてお話を伺います。豊岡市長、よろしくお願ひします。

市長： よろしくお願ひします。

アナ： 早速ですが、「移住対策」と言いますと、将来的な人口減少などを背景に、現在、多くの自治体で取り組んでいるテーマですよね。三島市では具体的にどのような取り組みを行っていますか。

市長： 現在、多くの方に三島に住んでいただけるよう様々な取り組みを行っておりますが、年間を通じて取り組んでいるものとしたしまして、まず、首都圏での「移住セミナーと相談会」の開催が挙げられます。

昨年度も、市の職員が東京都へ出向き、合計 5 回、延べ 6 日間にわたって三島の PR と移住を希望される方への個別相談を行いました。この相談会には、昨年度だけで 60 組の方に参加していただきましたが、この中で現在までに 8 組 18 名の方が三島市へ実際に移住をされました。

アナ： 昨年、移住相談会に来られた方が、既に三島市に住んでいるということですね。この東京都で開催しているセミナーでは、どのような PR をされていますか。

市長： ご承知のとおり、三島には新幹線駅があり「品川まで 37 分」という優位性のある立地です。そのため、現在のお仕事を変えずに、新幹線でラクラク通勤できるという点を PR の主眼に置いています。

アナ： 遠距離へ移住となりますと、勤務地の関係から「仕事を変えなければ。」という心配があると思いますが、その点で三島市なら「移住」へのハードルが下がりますね。

市長： そうですね。ですから三島の場合は、“移住”という言葉よりも“引っ越し”という言葉の方が合っているのかもしれませんが。

アナ： “引っ越し感覚での移住”ということですね。それでは、実際に三島市へ「引っ越し」、移住された方からはどのような声が聞かれますか。

市長： 実際に移住された方と、私もお話をさせていただいておりますが、三島に移住された理由として多く聞かれるのは、「新幹線通勤が可能であること」、「自然環境、水辺環境が良いこと」、そして、「子育ての制度や環境が整えられていること」などから三島を選んだとの声が多く聞かれます。

また、「地域の活動、団体の活動に参加して、地域とのつながりを増やしていきたい」という声もいただきます。これは、日頃市民の皆様が取り組んでいる様々な活動が三島の魅力となっているからだと言えます。

アナ： 確かに三島では多くの団体さんが活動していますが、それを魅力ととらえてく

ださるのは嬉しいですね。「移住セミナーと相談会」の他にはどのような取り組みをされているのでしょうか。

市長 三島への移住を検討されている方に向けて、実際に三島の街を見て回ってもらう「移住体験ツアー」を定期的で開催しております。平成29年度は3回開催したのですが、特徴としては保育園や子育て施設、住宅街等を訪問するなど、実際に三島で生活をするという観点でご案内をします。参加者から希望があれば、不動産物件の見学も行っておりまして移住に向けて具体的に考えるツアーになっています。

移住される場合は、「住まい」を探す必要がある訳ですが、静岡県宅建協会さん、全日本不動産協会静岡県本部さんとそれぞれ協定を締結させていただき、移住を希望される方への不動産情報の提供を行っています。併せて、三島市に移住する若い世帯を対象として、住宅取得に対し最大150万円の補助をする「住むなら三島移住サポート事業」等のサポートをさせていただいております。

アナ： なるほど。知らない土地での「住まい」探しはなかなか大変だと想像されますが、そこをサポートしているんですね。他に新たな取り組み等がありますか。

市長 本年度からの取り組みとして、市外に住んでいて三島に興味がある人、三島と関わりを持ちたいと思う人、つまりは三島のファンを増やしていく取り組みを実施していきます。今後そのファンの方に継続的に地域と関わってもらい、将来的に移住につなげていきたいと考えております。

アナ： いきなり、三島に移住してもらうのではなく、まず関わりを持ってもらうための取り組みですね。多くの方に三島のファンになってもらいたいですね。

市長 そうですね。三島出身の方、それ以外の方を問わず多くの方に参加していただきたいと考えています。

アナ： 豊岡市長、本日はありがとうございました。

市長 ありがとうございました。